

# モンドリアンの帽子

## 作品説明

都立八王子桑志高等学校デザイン分野では3学年実習において、羊毛繊維をまとめてこする「縮絨」という技法を用いて帽子を制作しました。

前衛運動「デ・ステイル」の創立メンバーであるピート・モンドリアンが抽象的な絵画を発展させ、白地の上に黒い垂直線と水平線のグリッド模様と3原色で構成された絵画《コンポジション》をモチーフとして選びました。

円筒形という帽子の立体的特性を活用し、モンドリアン柄の黒の垂直・水平線が側面の垂直線につながるように視覚的な工夫をしました。



# 花の帽子

## 作品説明

都立八王子桑志高等学校デザイン分野では3学年実習において、羊毛繊維をまとめてこする「縮絨」という技法を用いて帽子を制作しました。

咲き誇る花束を帽子のモチーフにしてみたら、周囲の人を笑顔にできるのではと考え、その作成方法を先生と相談しながら進めていく中で、花びらを一枚一枚作るのではなく、様々な色のフェルト繊維を混合し、フェルトボールを作成し、それを切断し花びらにしてみるとソリッドでボリュームのある花束を表現できるのではないかと案が生まれました。

花の大きさも色もランダムに配置することで、動きのある表現を帽子で実現できたと思います。

